

【副会長】

自薦の経緯をお願いします。

<Aさん>

副会長に自薦いたしました。役員を務めるなら、仕事や家庭の都合の良い時期にしたいと考えていたので、自薦にしました。また、副会長は6名なので、お知り合い同士で立候補するのにもおすすめです。

<Bさん>

高2の長男が中1の時に学級委員をつとめていましたが、コロナ禍で入学式から校外学習まで中止になり、PTA活動も極力校舎に立ち入らないように縮小化されました。消化不良だったわけではないですが、長男の高校生活をサポート出来るのもあと2年！空の巣症候群？と淋しさがよぎった時、何度目かのメールメイトのお知らせでうっかり副会長のボタンを押していました。

息子の学び舎に恩返しができる最後の機会、とはいえ受験の学年では荷が重いので、次男の受検が終わり、仕事が落ち着いている今なら、とお引き受けしました。

<Cさん>

入学以来、コロナの影響もあり、なかなか学校のことを知る機会がないまま時間が過ぎていました。子供が大きくなってくるとこんなものなのかなあと思いつつ、我が家にもやってきた反抗期。子供から入ってくる学校生活の情報は最低限で、学校行事や学習のこと・先生の話や友人関係についても本人からの限られた情報開示以外で知る由もない母。これまで2人の子供を育てる中で、一度もPTA活動に前向きに参加したことがなかったのですが、こうして子供に変化が起きているのに私の気持ちや考えに何の変化も起きていないなんて不思議なことかもしれない、私自身も向き合っただけでこなかったことに対峙し、変化することで見えてくる世界があるのかもしれないと急に思い立って自薦で応募いたしました。

<Dさん>

中高6年間のどこかで役員をやろうと思っておりました。勇気が出せず、さて、どうする？と思っていたときに、お友達の保護者の方が一緒にやりませんか？声をかけてくださり、やろうと思った次第です。

まさか、私が副会長に立候補するとは自分でも驚きました(笑)

<Eさん>

PTA本部の仕事をしたことがなかったので、やりたいと思い立候補しました。

<Fさん>

皆さんが自薦に迷うあるいは自薦しない理由は何でしょう？私の場合は、PCがあまり使えないために一緒に活動する方々にご迷惑をお掛けするのではないかとこの事でした。親として出来る事は全てしたくて、子どもが幼稚園、小学校の時からPTA活動には積極的に携わってきましたが、コロナ禍を経てデジタル化がどんどん進み手を挙げたくても挙げられない状況になっていました。それでもなかなか決まらないPTA役員の事が気にかかり、友人に相談にすると、「学校にはお世話になっているのだから6年間のうち1度くらいやってみたら！」とか「PCを使えるようになるチャンスだよ！」とか肯定的な意見ばかりでした。私にとって決め手となったのは「PTAは何をするかよりも誰とするかだ」と思う。メンバーから学ぶ事は多かったよ！」というアドバイスでした。同じ部活の方がすでに自薦している事を聞いていたので、今年なら何とか出来るかもしれないと思い、よしやってみようと勇気を振り絞って自薦する事にしました。

エピソードをお願いします。

<Aさん>

PTAの活動を通して学校への理解が深まりました。また、他の役員の方々との関わりの中で、子供達の学校生活のことや、部活、塾、受験についてなど様々なお話を聞けるので、大変参考になりありがたいです。

<Bさん>

自薦してしばらくすると副会長6人の内、私を含め5人が同じ部活の保護者と判明！さらに6人目は同じ市内在住と知り、学年も違い示し合わせてもいないのに運命を感じました。副会長が6人いるのは本当に心強いです。2023年度の先輩役員から丁寧に引き継がれた活動実績は、コロナ禍を経て無駄を省いた的確な今のPTAの姿だと思います。情報共有やコミュニケーションがとても良く機能していて、働きながらでも時間をうまく調整して活動しています。PTA活動に疑問を持つ方こそ参加してさらに良くしていくというのもいかがでしょうか？

※学校に行く機会や知り合いが増え、息子の学校情報というか学校での息子情報がだいぶ入ってくるようになりました。

<Cさん>

学校内にほとんど知り合いがいないまま過ごしてきたのですが、同じ副会長となった皆さんはとても話しやすく、子供の学年も(おそらく私たちの年齢も)違うはずなのに、最初から楽しく会話が弾んで安心したことを覚えています。業務分担を決める際も、それぞれの事情を理解しつつも平等な形で進められたと思います。誰かがリーダーシップをとれば皆で従い感謝して、不足があれば労を惜しまずサポートするという、人間としてもっとも必要でありもっとも難しいことを自然とできる同志との出会いは、私にとって大きな変化の一つであろうと実感中です。

<Dさん>

最初のうちは、仕事に慣れないことがあると思いますが、役員同士フォローし合って乗り切っております。子どものことを知りたい、学年を超えた保護者同士のつながりを作りたい、学校のことをもっと知りたい、理由は何でもいいのです。

PTA役員をやろうかどうしようか迷っているなら、ぜひ飛び込んでみてください。

もはや、ネタになりつつありますが。同じ部活の保護者が多いのは、武蔵で天下統一する……というわけではなく、偶然です。

<Eさん>

はじめは不安もありましたが、はじめてみると楽しいです。困った時は相談しながら活動しています。一人で抱え込む必要はありません。

他の中高一貫校との交流の場があったり、先生方との関わりも増え、学校のことにも少し詳しくなることが出来ます。

少しでもやってみようかなと思っている人は、是非一步踏み出してみてください。

<Fさん>

とても丁寧な引継ぎをして頂き、いよいよ活動が始まりました。マイペースな専業主婦の私にとって2つの変化がありました。

1つ目は、家事をしているだけでは分からないメールのやりとりや仕事の進め方に驚きながらも、勉強になる事ばかりでピリッと刺激の多い日常になりました。副会長が6人もいるので、分からない事は教えてもらい、出来ない事は助けてもらって、一人で家事をするのとは違うチームで活動する楽しさを感じています。

2つ目は、私はパソコンが不慣れで使い方を子どもに教わっているのですが、それが良いコミュニケーションの機会となり、小言の方が多くなる思春期に会話が増えました。学校についての共通の話題で盛り上がり、考えていることを話してくれたりするようになりました。

子どもの学校で子どもたちや学校のためにPTA活動ができるのも高校生までです！今しかできない期間限定の活動です！少しでも迷っている方は是非！